

# すみだ

# 区議会だより

'98.4.24

NO. 103

発行：墨田区議会事務局

130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号公5608-1111代表



「オリンピックめざして」 柳原幸之助さん(押上三丁目在住)の作品です。

※1面に掲載する写真を募集しています。

## 平成10年度予算成立

総額13883億6800万円 前年度比3・0%増

### ●第1回——定例会

墨田区議会は、平成10年第1回定例会を2月20日から3月30日までの39日間にわたって開きました。この定例会では、区長が平成10年度の施政方針を説明し、6名の議員が一般質問を行ったほか、区長から提出された総額13883億6800万円の平成10年度各会計の当初予算4件をはじめ全議案を原案どおり可決しました。

また、「墨田区議会委員会条例の一部を改正する条例」を含む議員提出議案6件を全会一致で可決しました。

### ▶可決した主な議案

■墨田区組織条例の一部を改正する条例

組織の簡素化を図るため文化事業室を廃止するとともに、資源循環型社会の構築及び地球環境問題に係る施策をより一層推進するため環境清掃部を設置するものです。

■墨田区社会福祉会館条例の一部を改正する条例ほか16件

受益者負担の適正化を図るため、社会福祉会館などの公の施設の使用料の額を改定するものです。

■墨田区職員定数条例の一部を改正する条例

業務の民間委託の推進、事務事業の見直し等に伴い、区長等の事務局の職員定数を2445人から2405人に40人削減するものです。

3月31日をもって任期満了となる収入役(四方田脩氏)の後任に高原二郎氏を選任するものです。

■墨田区長等の給料の特例に関する条例

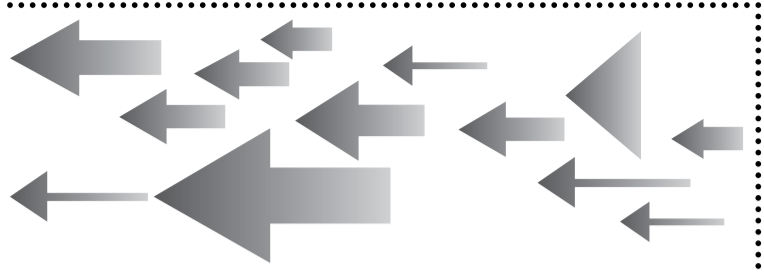
行政改革の推進状況等にかんがみ、平成10年度の給料の月額を、区長にあっては10%(11万6000円)、助役、収入役及び教育長にあっては5%(それぞれ4万6750円、4万2500円、4万2500円)減額するものです。

■墨田区議会委員会条例の一部を改正する条例

墨田区組織条例の一部改正に伴い、「地域振興文教委員会」の名称を「地域環境文教委員会」に改めるほか、常任委員会の所管事項を改めるものです。

会議日程——(会期39日間)		
2月20日	本会議	・会期の決定 ・施政方針説明
25日	議会運営委員会 区議会だより 編集委員会	・本会議の議事運営 ・第103号の発行について
26日	本会議	・一般質問
3月2日	本会議 予算特別委員会	・一般質問 ・区長提出議案の説明・委員会付託 ・正副委員長互選
4日～13日	予算特別委員会	・付託議案の審査
17日	地域振興文教委員会	・付託議案の審査等
19日	厚生保健委員会	・付託議案の審査等
23日	区民商工建設委員会	・付託議案の審査等
24日	企画総務委員会	・付託議案の審査等
27日	議会運営委員会	・本会議の議事運営
30日	本会議 区民商工建設委員会 議会運営委員会	・議案の議決 ・区長提出議案の説明・委員会付託 ・付託議案の審査 ・本会議の議事運営





# 区政を問う!

## 一般質問

2月26日と3月2日に、自由民主党、公明、日本共産党、区民クラブから6名の議員が区長及び教育長に対して一般質問を行いました。

### 厳しい財政環境の中での予算編成の基本的な考え方は

#### 自由民主党

**問** 平成10年度予算は、我が党が要望した13項目の重点課題にも十分配慮したと思う。厳しい財政環境の中で臨んだ予算編成の基本的な考えを伺う。また、今回の予算は、行政サービスの見直しに基づく事務事業の廃止縮小や補助金の削減等により引き続き歳出規模の抑制を図っているが、現在の財政状況では、基本計画事業の見直しも不可欠と考える。今後の計画事業推進の基本的考えと計画見直しの方針を伺う。

**答** 平成10年度予算は、見直しすべきところは大胆に見直し、本区の将来発展につながる施策は着実に進めるといふ基本的考えで、重要課題に重点的に財源配分した基本計画の見直しでは、現在までに未着手の計画事業を中心に、緊急性、優先性、事業費負担の年度の平準化等を図ることなど今後の取り扱いを検討した。事業の一部を平成13年度以降に繰り延べるとともに、見直しが必要なものは次期基本計画改定で再検討する。

#### ●介護保険制度導入に向けて

**問** 介護保険制度が国会で可決され、平成12年4月から実施される。制度導入に向けての10年度以降の執行体制整備の考え方は

**答** 平成12年4月から開始される介護保険制度について、施設整備に当たり学校の空き教室の活用を検討すべきではないか。介護保険認定審査会のメンバーは、どのような方々で構成されるのか。特別養護老人ホームへの入所制度が措置方式から自由契約方式になるが、行政としての指導監視について区長の見解を伺う。第1号被保険者の保険料の額は各自治体が定めるとされているが、本区では幾らぐらいと試算しているのか。



錦糸町駅北口の風景

#### ●副都心にふさわしい錦糸町のまちづくりを

**問** 昨年10月、錦糸町駅北口再開発が完成し訪れる人が増えている。今後、錦糸町の活性化については、交通網の整備や施設の誘致だけでなく、多くの人々に親しまれ、街全体として魅力ある姿を持つことが必要であると考えられる。副都心にふさわしい錦糸町をどのようにつくりあげていくのか。平成12年度に開業予定の地下鉄11号線の駅からの人の流れをどのように誘導していくのか。



介護サービスを実施している福祉保健センター

### 介護保険の問題と今後の方向を問う

#### 公明

**問** 平成12年4月から開始される介護保険制度について、施設整備に当たり学校の空き教室の活用を検討すべきではないか。介護保険認定審査会のメンバーは、どのような方々で構成されるのか。特別養護老人ホームへの入所制度が措置方式から自由契約方式になるが、行政としての指導監視について区長の見解を伺う。第1号被保険者の保険料の額は各自治体が定めるとされているが、本区では幾らぐらいと試算しているのか。

#### ●学校教育の今後のあり方は

**問** 最近、中学生によるナイフを使った殺傷事件が多発している中、都教育長は学校内の安全が脅かされそうな時には校長に持ち物検査などをためらってほしくない」と述べているが、区教育委員会の基本的な考え方を伺う。我が党は、先日政府に対する緊急提言を発表し、その中で、児童生徒のボランティア活動を必須科目にすることや社会人の中高年を教師に採用することを提案したが、教育長の所見を伺う。

**答** 所持品検査等は、子供と教職員の安全確保のために必要やむを得ないと判断したときや学校の教育活動が正常に保てないと判断したときに、保護者や子供の理解を十分に得た上で実施する。ボランティア活動は本区の各校で多くの実践が進んでいるが、新教育課程の動向を踏まえ充実を図る。都教育委員会は実社会で多彩な経験をさせた社会人をより多く採用する方向であると聞いており、今後の動向を見据え研究する。

## 委員会の焦点

### 「主な審査結果等」

区議会では、本会議に提出された条例等の議案や、受理した請願・陳情を審査・調査するために、4つの常任委員会を設置し、専門的な立場から審議しています。

今定例会中での常任委員会もようは、次のとおりです。

#### 企画総務委員会

都内各地の空襲犠牲者の氏名記録と追悼に関する陳情は継続審査にしています。

#### 区民商工建設委員会

墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例を可決

〔3月24日〕

**議案** 職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例…退職手当及び期末・勤勉手当支給の一層の適正化を図るため、離職した職員等が在職期間中の行為について逮捕された場合等に、その者に対するこれらの手当の支給を一時差し止める制度等を新設するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

〔3月23日〕

**議案** 墨田区特別区税条例の一部を改正する条例…平成10年度限りの措置として、区民税の所得割について定額による特別減税を実施する等のもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

**報告** 墨田区小規模企業特別融資制度に係る不況対策「景気対策特別制度」の実施期間の延長について…平成10年3月末までとしていた実施期間を同年9月30日まで延期することとした旨の報告があった。

**報告** ファッションセンター事業の進捗よく状況について…国際ファッションセンター(株)に対する50億円の貸付けについて、貸付利率など貸付条件の報告があった。

〔3月30日〕

**報告** 墨田区組織の改正について…平成10年度に墨田区の組織の一部を改正するので、その概要の報告があった。

**報告** 投票所入場整理券の様式変更について…投票所入場整理券の様式を変更し(2名連記・投票所地図印刷)、効率化を図ることとした旨の報告があった。



新設した介護保険担当の窓口



商工業融資等のパンフレット



# 区民犠牲の予算を撤回せよ

## 日本共産党

**問** 区の財政破綻は、大規模開発や国際ファッションセンターへの50億円支援、ケーブルテレビ会社横領事件の後始末への財政支援など区長の失政と政治責任によるものだ。予算案での10億円に及ぶ区民の負担増と社会的弱者への施策切り捨ては、国際ファッションセンターへの本年度25億円支援をやめれば守られる。予算の組み替えを強く要求する。

**答** 施策の実施にあたっては、社会経済状況を踏まえ、区民ニーズを的確に把握し事業の優先性を吟味し、将来も見据えた社会資本整備としての再開発事業等を実施した。事業の見直しは、事業効果の薄れてきたものや他の施策により代替性があるもの等を中心に一部事業の廃止、縮小を行う。予算の組み替えを行う考えはない。

### ●鐘ヶ淵地域の区画整理事業は住民台意を前提に



鐘ヶ淵のまちなみ

**問** 大都市での区画整理事業の実施において、「減歩は付加価値が上昇するため当然」との

提供し、事業推進を図っていききたい。

### ●介護保険の問題点についてどう考えるか

**問** 介護保険は、自治体の実施主体となつていて、現時点における問題点として、低所得者に対する保険料及び利用料などの対応、区民ニーズに配慮するためのヘルパーの増員及び各施設整備への対応、要介護認定に関わる問題、障害者の方への対応及び国の財政支援など「保険あって介護なし」にならないよう対応せよ。

**答** 一定の基準が示され、低所得者対策が講じられるものと期待する。人材確保と施設整備に努める。モデル事業で要介護認定の問題点を把握し、職員の資質向上などを図る。障害者の方の生活実態等を把握し、適切なサービスの確保に努める。必要に応じ、区長会等を通じ制度の改善を国等へ要望する。

## 国際ファッションセンター事業の展望を問う

**問** 国際ファッションセンターへの融資については、当初から、この経済情勢の中で区民の理解を得るためには「利子を付すこと」が最低の条件であることを再三にわたり強く要望してきたところであり、その方向が示されたことを高く評価する。無利子融資を前提に立てられた事業計画の変更があると思うが、今後のファッションセンター事業の収支見直しを含めた展望について所見を伺う。

**答** 国際ファッションセンター株式会社への融資に利子を

## 区民クラブ

付すことにより、少なからぬ影響が出ることは予想されるが、より一層の経営努力を織り込むことにより事業収支見込みへの影響を回避できる範囲の利子負担を求めるところとするので、際立った見通しの悪化が起ることはないと考えられている。具体的な事業収支見直しについては、現在会社側で調整中であるので今暫く時間を借りたい。

### ●保育園と幼稚園の一元化検討を

**問** 保育園の入所待機者が増えている一方で、幼稚園では入園児が減少している傾向にある。そこで、所轄官庁が異なるとはいえ、現実に対応し得る方策として、運営面での連携を図り、機能を相互に補完し合うなど、この際、保育園と幼稚園の一元化についても検討すべきだと思ふが、区長の見解を伺う。

**答** 昨年、幼稚園、保育園の施設の共用化等、弾力的な運用について文部省と厚生省との協議が進められている。また、他区では、幼稚園と保育園が合築され、施設の共用化を図っている。



押上保育園にて

## 今定例会で議決した意見書 (要旨)

**天下り規制強化及び公務員倫理法の制定に関する意見書**  
一昨年の厚生省汚職事件や今回の大蔵省汚職事件など官僚の不祥事が相次いでおり、地方を含めた公務員のモラルの低下が大きな政治的、社会的問題になっていっています。よって、公務員の不祥事を絶つために、天下り規制と行政手続きの透明化を一層強化するとともに、「公務員倫理法」を国会において速やかに制定するよう強く要望いたします。

**大蔵省汚職事件の徹底究明に関する意見書**  
金融検査に絡む大蔵省の汚職事件は、金融検査部と証券局の幹部が取引先で賄賂を受け、大蔵大臣や大蔵事務次官が辞任するという事態に至りました。よって、このようなゆがめられた金融行政を正常に戻すためにも、金融機関に対しての真摯な検査が行われてきたのか、その真相を国民に全面的に明らかにするとともに、金融機関と大蔵省との癒着・腐敗の実態を一刻も早く徹底究明するよう強く要望いたします。

**景気回復に関する意見書**  
日本経済は、個人消費の減退と金融不安が重なり、かつて経験したことのない深刻な事態となっており、失業率も最悪と報じられています。中小零細企業が集積した本区において、その影響が極めて顕著であります。よって、景気回復に必要な所得税、住民税の減税等を行うとともに生活関連の公共投資を促進するよう強く要望いたします。

**児童手当制度の拡充に関する意見書**  
わが国は、高齢化が急速に進展する一方で、合計特殊出生率の低下が顕著に示しているように、今後更に少子化が進み、人口が減り続けることが深刻な問題となつてきております。よって、現行の児童手当制度を見直し、満三歳未満としていた対象児童を未就学児までに拡大するとともに、支給水準の大幅な引上げと所得制限の緩和など抜本的改正を図るよう強く要望いたします。

**保育施策の充実にに関する意見書**  
保育施策の充実は、急速に進む少子化問題に対応する観点からも、その重要性が指摘されています。誰もが安心して子供を産み育てられる環境をつくること、最大の課題となっております。とりわけ、大都市における女性の社会進出などによる入園希望者が増大し、待機者が生まれている状況にあります。よって、大都市における公的保育の充実に必要な国の財政支援を強く要望いたします。

**内閣総理大臣・大蔵大臣 へ**  
内閣総理大臣・大蔵大臣 へ

**内閣総理大臣・大蔵大臣 へ**  
内閣総理大臣・大蔵大臣 へ

**児童手当制度の拡充に関する意見書**  
わが国は、高齢化が急速に進展する一方で、合計特殊出生率の低下が顕著に示しているように、今後更に少子化が進み、人口が減り続けることが深刻な問題となつてきております。よって、現行の児童手当制度を見直し、満三歳未満としていた対象児童を未就学児までに拡大するとともに、支給水準の大幅な引上げと所得制限の緩和など抜本的改正を図るよう強く要望いたします。

**保育施策の充実にに関する意見書**  
保育施策の充実は、急速に進む少子化問題に対応する観点からも、その重要性が指摘されています。誰もが安心して子供を産み育てられる環境をつくること、最大の課題となっております。とりわけ、大都市における女性の社会進出などによる入園希望者が増大し、待機者が生まれている状況にあります。よって、大都市における公的保育の充実に必要な国の財政支援を強く要望いたします。

**内閣総理大臣・大蔵大臣 へ**  
内閣総理大臣・大蔵大臣 へ

**内閣総理大臣・大蔵大臣 へ**  
内閣総理大臣・大蔵大臣 へ

**内閣総理大臣・大蔵大臣 へ**  
内閣総理大臣・大蔵大臣 へ

**内閣総理大臣・大蔵大臣 へ**  
内閣総理大臣・大蔵大臣 へ

**内閣総理大臣・大蔵大臣 へ**  
内閣総理大臣・大蔵大臣 へ

### 学童擁護制度の見直しについて報告

地域振興文教委員会

【3月17日】

**報告** すみだ健康ハウスの管理・運営等について—本年4月に開館を予定しているすみだ健康ハウスの使用料を大人700円、小中学生300円、幼児無料とするなど、その管理・運営等の詳細についての報告があった。

**報告** 学童擁護制度の見直しについて—学童擁護制度について、「擁護から自立へ」という観点から、児童の交通安全意識の向上を目指す新たな対策を図る必要があるため、平成14年度末を目途に廃止する旨の報告があった。

**報告** 男女平等に関する意識・実態調査について—平成9年に実施した男女平等に関する意識・実態調査の結果がまとまったのでその報告があった。

**報告** JR両国駅エスカレーターについて—車いす対応型エスカレーターの運行開始について報告があった。



オープンしたすみだ健康ハウス



設置された両国駅のエスカレーター

### 墨田区敬老金支給に関する条例を廃止する条例を可決

厚生保健委員会

【3月19日】

**議案** 墨田区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例・女性福祉資金貸付制度の充実を図るため、同資金の一部について貸付限度額を引き上げるもの—原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

**議案** 墨田区敬老金支給に関する条例の一部を改正する条例—社会経済情勢の変化にかんがみ、廃止するもの—起立表決の結果、原案どおり可決すべきものと決定した。

**報告** 介護保険制度について—平成9年12月に介護保険法が公布されたことに伴い、介護保険制度の内容について報告があった。

**報告** JR両国駅エスカレーターについて—車いす対応型エスカレーターの運行開始について報告があった。

### 清掃工場建設対策特別委員会を開く

昨年12月17日、同月26日、今年1月20日、同月30日及び2月19日に清掃工場建設対策特別委員会を開き、「東京都墨田清掃工場」へのごみ搬入計画(ごみ搬入量、ごみ搬入ルート、清掃車両台数など)等について、東京都及び理事者から説明を受け、質疑応答を行ったほか、昨年12月26日及び今年2月19日には、同工場、周辺道路等を視察しました。この工場は、東京都が建設した



工場視察のもよう

もので、2月1日から本稼働しています。



# 定例会で決まった議案

今回の定例会で決定した議案は以下のとおりです。

## ●区長提出議案

- 〈条例〉
- ・墨田区組織条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区職員定数条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区長等の給料の特例に関する条例
  - ・職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例
  - ・職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例
  - ・墨田区社会福祉会館条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区特別区税条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区東墨田会館条例の一部を改正する条例
  - ・すみだ産業会館条例の一部を改正する条例
  - ・すみだ中小企業センター条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区立公園条例の一部を改正する条例
  - ・すみだリバーサイドホール条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区家庭センター条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区曳舟文化センター条例の一部を改正する条例
  - ・両国公会堂の管理運営に関する条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区地域集会所の管理運営に関する条例の一部を改正する条例
  - ・すみだ女性センター条例の一部を改正する条例
  - ・災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区立学校設備使用条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区立校外学園条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区民山の家条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区体育館等の管理運営に関する条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区営運動場条例の一部を改正する条例
  - ・すみだ生涯学習センター条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区療養資金貸付条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区児童育成手当条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区保育所条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区保育所入所措置及び費用徴収に関する条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区母子寮条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区敬老金支給に関する条例を廃止する条例
  - ・墨田区介護福祉士等修学資金貸付条例を廃止する条例
  - ・墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例

## 〈予算〉

- ・平成9年度墨田区一般会計補正予算
- ・平成9年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成9年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算
- ・平成10年度墨田区一般会計予算
- ・平成10年度墨田区国民健康保険特別会計予算
- ・平成10年度墨田区老人保健医療特別会計予算
- ・平成10年度墨田区用地特別会計予算

## 〈人事〉

- ・墨田区収入役選任の同意について
- ・墨田区監査委員選任の同意について

## ●議員提出議案

- ・天下り規制強化及び公務員倫理法の制定に関する意見書
- ・大蔵省汚職事件の徹底究明に関する意見書
- ・景気回復に関する意見書
- ・児童手当制度の拡充に関する意見書
- ・保育施策の充実に関する意見書
- ・墨田区議会委員会条例の一部を改正する条例

# みなさんの声

「請願・陳情の  
審査結果」

今定例会では、請願1件と陳情1件のほか、平成9年第4回定例会で継続審査となった陳情2件について所管の委員会で審査し、最終日の本会議で次のとおり決定いたしました。

## ■不採択としたもの

- ▽東京都立墨田川高等学校校境校舎の存続に関する請願——「趣旨に沿うことは困難である」
- ▽首都高速道路の「乗り継ぎ券」発行案検討の中止に関する陳情——「趣旨に沿うことは困難である」

## ■難である

- ▽大規模小売店舗法の改正に関する陳情——「趣旨に沿うことは困難である」
- ▽都内各地の空襲犠牲者の氏名記録と追悼に関する陳情

## ●新年度予算を特別委員会で集中審査

区議会では、3月2日の本会議で、区長から提案された平成10年度墨田区一般会計などの予算4件を審査するため、予算特別委員会を設置しました。

この委員会では、3月2日から3月13日までの延べ9日間にわたり、各予算の考え方や内容などについて集中的に審査を行いました。最終日には、自由民主党、公明、

別会計予算については原案どおり可決すべきものと決定し、用地特別会計予算については起立表決によりいずれも賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定し、用地特別会計予算、老人保健医療特別会計予算、国民健康保険特別会計予算を除く予算3件に「反対」の立場で、それぞれ意見を述べた後、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、老人保健医療特別会計予算については起立表決によりいずれも賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定し、用地特別会計予算については原案どおり

## 平成10年度各会計予算

一般会計	977億6,800万円 (+2.7%)
国民健康保険特別会計	176億5,400万円 (+3.7%)
老人保健医療特別会計	203億 200万円 (+3.2%)
用地特別会計	26億4,400万円 (+6.5%)
総額	1,383億6,800万円 (+3.0%)

注( )内は、前年度比の伸び率

委員長 ○副委員長

- 樋口 丈吉
- 大和久常雄
- 林 恒雄
- 沖山 仁
- 藤崎 繁武
- 木内 清
- 広田 充男
- 加藤 廣高
- 片倉 洋
- 中沢 進
- 村松 重昭
- 堺 美穂子
- 牛山れい子
- 加藤 耕造
- 佐藤 四郎
- 瀧澤 良仁
- 槐 勲
- 西 恭三郎

## ●平成10年度予算に対する各党派の意見

### 自由民主党

賛成

現下の厳しい経済情勢を打開するため、国・都において金融シテムの安定化や景気回復の対策が積極的に行われている。しかし、本区を取り巻く財政環境は更に悪化し、十年度の予算編成は、そうした中で行われ、事業の見直し、職員定数の削減等に努めつつ、わが党の要望も取り入れられたものと評価している。今後、区民へのサービスを低下させることなく、行政改革を断行し、肥大化した行政組織の整備あるいは効率的な財政運営、そしてバランスのとれた職員の定数管理等の実現に向け、区長の行政手腕が遺憾無く発揮されることを期待する。また、予算執行に当たっては、区内産業の実態や区民ニーズに的確に対応する努力を望む。

### 公明

賛成

本区の財政は依然として厳しい状況にあり、景気の早急な回復が望めない今、厳しい財政環境は今後も引き続くものと想定され、多様化する区民ニーズに的確に対応していくには、体系的な行政サービスの見直しや職員定数の削減、組織の簡素化などの内部努力を積極的に進め、行財政改革を着実に進めてほしい。緊急課題の防災対策はよりきめ細かい機能性に富んだ対策に力を入れてほしい。まちづくり対策では、京成の立体化に伴う沿線住民、鐘ヶ淵周辺、京島等地域の声を良く聞き、不利益の出ないよう合意に向け努力すべきである。高齢者対策・子育て支援に関しても、真剣な取り組みをお願いしたい。なお、敬老金の支給廃止に対し、我が党は反対である。

### 日本共産党

反対

予算に反対する第一の理由は、区民生活の深刻な実態にこたえず、区民施策を冷たく切り捨て、負担増を押し付けていることだ。敬老金の贈呈の廃止、新婚・ファミリー世帯の家賃助成新規分の廃止、国保料の大幅値上げ、施設使用料のいっせいで値上げなど問題だ。第二に、区民犠牲の「行革」の推進だ。財政難の原因は、ホテル中心の国際ファッションセンターへの50億円融資など大規模開発と国や都の財源カッタにある。ここにメスをいれずに、学童擁護員制度の廃止などは容認できない。わが党は、ファッションセンターへの融資をやめれば、保育料を元に戻し、福祉・教育の充実が可能と「予算組替え動議」を提出したが、他党が否決したのは重大だ。

### 区民クラブ

賛成

厳しい財政状況の中で行政改革に積極的に取り組む姿勢が示されたことは、時宜を得たものである。我が党派はファッションセンターへの融資に利子を付すことを再三主張してきたが、今回その決定をみたことを高く評価する。職員定数については削減に努めるべきだが、将来の組織活性化等を考慮して、一定の新規採用をすべきと考える。また、今後の保育のあり方やその充実のため、幼保一元化を検討すべきである。更に、少年の犯罪を未然に防ぐため、学校内での指導は毅然とした姿勢で行うことを望む。

## 党派構成が一部変わりました

大久保明議員は、1月16日付けで「無所属」となりました(変更前…「墨田区議会新進党」)。

- ・墨田区議会自由民主党 (18人)
- ・墨田区議会公明 (7人)
- ・日本共産党墨田区議会議員団 (5人)
- ・墨田区議会区民クラブ (3人)
- ・無所属 (1人)



## 編集後記

柔らかな春の日差しを浴びて、草木が一斉に芽をふき出し始めました。すべての生命の息吹が感じられる季節です。

区議会は閉会中ですが、各種委員会や会派による調査活動などが精力的に行われています。

区議会事務局調査係  
☎5608-6352

次の定例会は6月に開かれます。